



2019年5月9日

各位

会社名 日本アジアグループ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 山下 哲生
(コード番号 3751 東証第1部)
問合せ先 取締役 淵田 隆記
TEL(03)4476-8000(代表)

通期連結業績予想値と実績値の差異および特別損失の発生に関するお知らせ

2019年3月29日に公表した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の通期連結業績予想値と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 通期連結業績予想値との実績値の差異

(1) (2018年4月1日~2019年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 102,500 | 400 | 1,600 | 2,000 | 74.47 |
| 今回発表業績(B) | 102,025 | 1,733 | 193 | 2,491 | 92.77 |
| 増減額(B-A) | 474 | 1,333 | 1,406 | 491 | |
| 増減率(%) | 0.5% | 333.4% | | | |
| (ご参考)前期実績 (2018年3月期) | 73,318 | 3,153 | 1,426 | 1,448 | 54.12 |

(2) 差異の理由

3月29日に公表しておりました株式会社ザクティにおける未払費用の戻入益が発生した事に加え、空間情報事業において生産活動が想定以上に進捗いたしました。また、グリーン・エネルギー事業にて採算性が向上した事もあり、営業利益、経常利益段階で前回発表予想を上回る結果となりました。一方、以下の特別損失の発生を主因として、親会社株主に帰属する当期純利益が2,491百万円となりました。

2. 特別損失の発生

株式会社ザクティが保有している固定資産について、減損兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失として1,780百万円を計上することいたしました。

以上